

令和2年度 第3回健康づくり支援部会 議事録

日 時：令和3年2月24日（水）19時35分～20時15分

場 所：市役所本庁舎10階 第3会議室

会議次第

- 1 開会
- 2 会議
 - (1) 前回会議の議事録（案）の確認
 - (2) 令和3年度 健康推進課関係予算（案）について
 - (3) その他
- 3 閉会

出席委員：阿部厚憲委員、吉村典子委員、古澤慎二委員、金須俊雄委員

川田真裕美専門委員、有岡秀専門委員、干場敦子専門委員

事務局：野原健康推進課長、長谷川係長、横山主任

○事務局

皆さま、こんばんは。定刻となりましたので、令和2年度第3回健康づくり支援部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席は、健康づくり支援部会、委員9名中、7名の出席をいただいております。出席人数が委員の過半数を超えていますことから、本日の部会は成立しております。

これより議事の進行につきましては、阿部部会長にお願いいたします。

○部会長

それでは、会議に入らせていただきます。

最初に前回会議の議事録(案)の確認についてを議題といたします。この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。議事録について、ご質問やご意見があればお願いします。

○委員

特にありません。

○部会長

質問がなければ、議事録についてはこれで了承されました。

次に、令和3年度、健康推進課関係予算案についてを議題といたします。

○事務局

令和3年度の健康推進課関係予算（案）につきまして、説明させていただきます。資料は1～2になります。資料1から説明させていただきます。令和3年度の健康推進課関係予算（案）であります。予算額と対前年度の増減額の推移を記載しております。

まず、表の右側に、令和3年度予算を記載しております。

この中で、職員給与費へ振替分として、Bと記載している欄があります。こちらにつきましては、令和2年度から、地方公務員法・地方自治法の一部改正により、これまでの嘱託職員等のうち、多くの職員が、会計年度任用職員に移行していることから、担当課で予算措置しておりました、報酬等の予算が、職員給与費として、人事課所管の予算に移行しており、過去と比較のためC欄を設けております。

左側の事業区分と、右側の令和3年度予算額につきましては、A欄をご覧くださいと思います。

まず、上から、保健衛生総務費が、4億6千791万6千円、そのうち、主なものでは、保健衛生推進費687万円、食・運動改善推進費86万2千円、公衆浴場対策費1千489万円、看護師等養成機関確保対策費8千103万2千円、帯広厚生病院運営費補助事業費2億1千万円、すこやかネット事業費435万6千円などとなっております。

妊婦・乳幼児健康診査費、母子保健相談指導費、心の発達支援事業費、食育推進事業費については、令和2年度より組織再編のため健康推進課関係予算として計上しておりますが、従前より児童育成部会で説明していることから当部会においては、予算額のみお示しすることとさせていただきます。

前年度と比較しての、増減の主なものといたしましては、帯広厚生病院運営費補助が、910万円の増となっておりますが、こちらは、特別交付税単価の増により、補助額が増えたものです。

続きまして、夜間急病診療費は、1億5千801万1千円となっております。

内訳といたしましては、休日夜間急病センターの管理運営費が、8千147万4千円で、101万8千円の増、在宅当番や二次救急医療などの救急医療対策費が7千653万7千円で、62万円の増となっております。

休日夜間急病センター管理運営費が増となっている理由といたしましては、平成29年度から令和3年度の5か年契約となっている中で、医師の給料のベースアップ等により、毎年委託料が増えることを見込んでいたためでございます。

休日夜間急病センターの指定管理料について令和2年度は患者数の大幅な減のため、予定額も含め1億215万5千円を補正予算により追加しております。

令和3年度予算について、現状では新型コロナウイルス感染拡大防止の影響も不透明なため、通常ベースでの当初計上をしております。

続きまして、予防費は、総額で5億9千202万2千円となっており、主なものといたしましては、がん検診・健康診査費1億3千885万7千円、予防接種費3億6千104万5千円、感染症予防費8千848万1千円、健康教育費297万2千円、などとなっております。

今年度から実施している健康教育費の「健康マイレージ事業」も順調に利用者数も増加しております。

また増減につきましては、予防接種費につきましては、令和2年10月から定期接種化したロタウイルスワクチンの通年化や、BCGの予防接種を臨時的に集団から個別接種化、HPVワクチン接種者の増を見込み、4千992万3千円の増となっております。

感染症予防費につきましては、インフルエンザ予防接種や高齢者の肺炎球菌予防接種の増を見込み、1千878万7千円の増となっております。

次に、保健福祉センター費として、2千385万2千円を計上しております。こちらは、「保健福祉センター」の管理運営に要する費用でございます。以上、総事業費は、A欄の歳出予算合計12億4千180万1千円となります。

続きまして、資料2令和3年度 健康推進課関係事業の概要をご覧ください。

こちらは、資料1の内訳となります。

左側の、保健衛生総務費は、4億6千791万6千円で、医療体制の整備や医療の人材不足への対応のほか、公衆浴場対策、健康まつりや健康づくりのボランティアの養成、育成など市民の保健予防の推進のための予算となっております。

右側の、予防費は、5億9千202万2千円で、胃がん、肺がん、子宮がん、乳がん、大腸がんの5大がんの検診のほか、各種健康診査、予防接種や感染症予防、結核予防など、疾病の予防、早期発見のための経費と、健康相談、健康教育、訪問指導の経費を計上しております。

中央の夜間急病診療費は、1億5千801万1千円で、休日や夜間の救急医療を確保するものです。

帯広市の二次救急当番病院について、管内町村住民の利用割合が約4割を占めている現状となっていることから、その体制維持のため、三次救急同様、十勝全体での支援体制が必要との考えのもと平成30年から協議・検討を進めているところです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定どおりの進捗が困難な部分もありますが、引き続き、二次救急医療体制の維持確保のため、帯広保健所をはじめ、関係機関と連携しながら、取り組んでまいりたいと考えております。

次に、保健福祉センター費として、2千385万2千円を計上しております。

こちらは、保健福祉センターの管理運営に要する費用でございます。

また、本資料には記載しておりませんが、新型コロナウイルスワクチン接種に向けた体制整備及び医療従事者へのワクチン接種については、令和2年度2月補正予算にて令和3年度へ繰越するものとして計上しております。

このほか、高齢者や一般市民へのワクチン接種費用については、今後段階的に補正予算として計上する予定となっております。

説明は以上でございます。

○部会長

何か質問はありますか。市への税収は減っているが、健康推進課の予算は減らず、増えている。我々が関係しているところは、予算をつけてくれています。

○委員

ワクチン接種費用に関して、医療従事者の接種以降、補正予算を段階的に組んでいくということだが、どのくらい補正予算を考えていますか？帯広市のワクチンの接種に関してもお聞きしたい。

○事務局

ワクチン接種費用に関して2月の補正予算は次年度の繰り越しになりますが議会において可決されました。内訳としては医療従事者の接種分と、その中で帯広市民分のものと、コールセンターに伴う経費等です。国のスケジュールが不透明な部分もあり、ワクチン供給の時期など今後示される予定です。

○委員

高齢者の接種がいつはじまるのかも決まっていないのですか。

○部会長

接種時期に関してですが65歳以上は優先接種ですが時期はいつになるかはまだわかっておりません。

○事務局

接種に関することが正式に決まった段階でお知らせしたいと思います。

○委員

医療従事者への接種で市内在住ではないが帯広市内で働いている人は、帯広市内の

医療機関で接種するのですか。その接種費用は帯広市が支払うのですか。

○事務局

接種できますが、住民票のある市町村が支払いを行います。

○部会長

医療従事者は病院でとりまとめのもと実施はしますが、住民票のあるところでの支払いとなります。

○委員

高齢者施設や保育所などに実習を行っている学生は接種対象としては優先接種の対象にならないのですか。

○部会長

医療関係の学生などは医療従事者と同じ接種時期になります。介護関係はまだ示されておられません。

○委員

十勝管内でクラスターが発生していると聞いております。高齢者施設などのリスクのある場所で実習をしており学生も対象とならないのか疑問である。

○部会長

対象となる場合は今後正式に通達があると思います。

○委員

医療関係者はいつから接種が始まりますか。

○部会長

3月上旬と聞いています。帯広市の具体的な日にちは決まっていますか。

○事務局

北海道にワクチンが入ってくる日は聞いておりますが、帯広市に入ってくるのはまだ不確定でございます。

○委員

令和2年度から身体障がい者トレーニング事業の予算は掲載されていないが、事業

自体はやっておりますか。

○事務局

事業は実施しております。障害福祉課に事業が移管しました。

○委員

厚生病院に対する補助があるが、基幹病院ということもあるのはわかるが、厚生病院以外の補助はどうなっていますか。

○事務局

厚生病院は拠点病院・3次救急にもなっているため、国の交付税を使って、十勝全体で支援しています。資料2の中ほどになる、夜間急病診療費で2次救急医療の予算額があり、2次救急医療に関連する病院には補助しています。

○委員

高額な医療の機械を何でもそろえることはできないが、市としてそういったバックアップもしてもらえると良いのではないか。

○部会長

2次救急は輪番でやっています。4千万程の予算を輪番でやっている病院で分けています。重症患者の受け入れをしているため、その分の人件費などの経費が掛かります。新型コロナウイルス感染症の影響で救急車の出動自体が減っています。喜ばしいことであるが、病院としては減収になり、病院を維持するためには、自治体からの援助など、ある程度の補填が必要になると思います。

○委員

救急医療対策費のドクターヘリの予算というのは、この予算で足りるのですか。3万1千円でドクターヘリの運用に足りるのですか。

○部会長

ヘリポートを持っているのは厚生病院のみです。協会病院も空港まで運ばれてきた方を運ぶことはしています。ここに記載している予算は、啓蒙費などですか。

○事務局

ドクターヘリの運用などの費用は都道府県の役割となっております。医療体制の整備は十勝全域で行われており、予算は道東で行われている会議に出席する旅費になっ

ております。

○委員

感想になりますが、食・運動改善推進費に自分は携わっております。様々な事業に携わっているが、今年はほとんどの事業がなくなってしまい、来年度は果たしてできるのか。市が決めて周知をして事業に集まるといった活動であるが、もっと自分たちの団体が主体的に活動を行うことができればと思います。

○事務局

主体的に活動をしていただきたい事業です。場の提供もしているが、主体的な活動を推進していただくことでより活動の場も広がると思います。現在も食生活改善推進員や健康づくり推進員のみなさんは市民のためにさまざまな活動をしていただいております。

○委員

公衆浴場対策費に関してですが、廃業となっている浴場などもあるが、そのままの予算でよいのですか。

○事務局

予算計上の時は、その時点で営業している浴場で計上していますが、廃業などの把握はしており決算の時に精算することになります。

○部会長

他になければ、質疑を終了します。次にその他については、委員の皆様から何かありますか。

○委員

資料の2の網掛けは見えづらいので見えやすくしてほしい。

○事務局

ご意見ありがとうございます。次回は見えやすいように工夫します。

○事務局

今回の健康づくり支援部会は、健康生活支援審議会の実施もありますので、部会長と相談のうえ、改めてご案内させていただきますのでよろしくお願いします。

○部会長

他になれば、本日の議事を終了することとします。皆様お疲れ様でした。